

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 使用済み核燃料の現状 と今後は</p>	<p>女川原発1号機の廃止措置も進んでいると思われ ますが、再度使用済み燃料について伺います。</p> <p>(1) 電気事業連合会の使用済み燃料対策推進計画に よると、将来の使用済み燃料対策方針に敷地内 外における乾式貯蔵施設等、種々の貯蔵方策に ついて検討すると、2018年11月、2020年7月及 び2021年5月に方針を立てていますが、執行部 には相談打診等ありましたか。</p> <p>(2) 1号機の廃止措置状況の資料に核燃料物質の 搬出項目があり、4月から6月で進捗が見られ ますがどのような事が進捗しましたか。また、 現在残っている982本の使用済み燃料のうち最 も古いものは何年前から保管され、搬出されて いないのですか。</p> <p>(3) 六ヶ所村、使用済み核燃料再処理工場の完工が 26回目の延期となり、7月末時点で完工時期も 未定となっています。女川原発の使用済み燃料 排出への影響はどう考えますか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>2 再エネ導入施策の実施状況は</p>	<p>4月26日付けの環境省における再エネ導入施策の実施状況をみると、2030年の温室効果ガス削減目標の実現、地域の脱炭素化を通じた地方創生の実現に向けて、地域資源である再生可能エネルギーの最大限の導入を促進することを重要とし、公共施設での太陽光発電の導入、民間企業における自家消費型太陽光発電導入の促進、改正温対法による促進区域等を活用した自治体関与による地域共生型・裨益型再エネ導入の促進に取り組むこととしています。</p> <p>(1) 本町の事務事業に関する温室効果ガスの排出量削減等のための措置に関する計画はどうなっていますか。</p> <p>(2) 太陽光発電については設置可能な建築物（敷地を含む）の50%以上に設置することを目指すことが期待されるとありますが、現在の設置割合と今後の方針は。</p> <p>(3) 以前、施政方針にもあった地域型のバイオマス発電の取組状況と民間企業への自家消費型太陽光発電の導入の促進についての考えは。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問者 高野 晃

質問事項	質問の要旨
3 清水19号線の進捗状況は	<p>(1) 昨年度、コロナ禍や県警との協議の関係で繰り越しとなっていた清水19号線新設工事ですが現在の進捗状況は。</p> <p>(2) 阻害要因と対応は。</p> <p>(3) 工事着工及び完了の時期は。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>